

第2章 本市の地域福祉を取り巻く現状

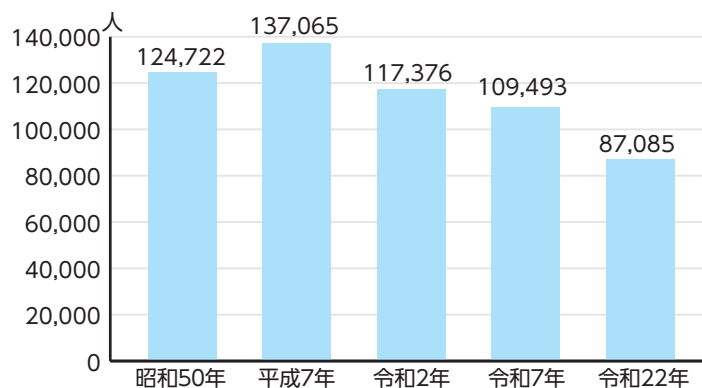


1 統計から見る地域福祉の現状

人口の状況

本市の人口は、昭和から平成にかけて少しずつ増加し、平成7年には137,065人となりました。しかしながら、それ以降は減少に転じており、令和7年には109,493人となっています。令和22年には、87,056人となることが想定されるなど、引き続き人口減少が見込まれます。

人口の推移

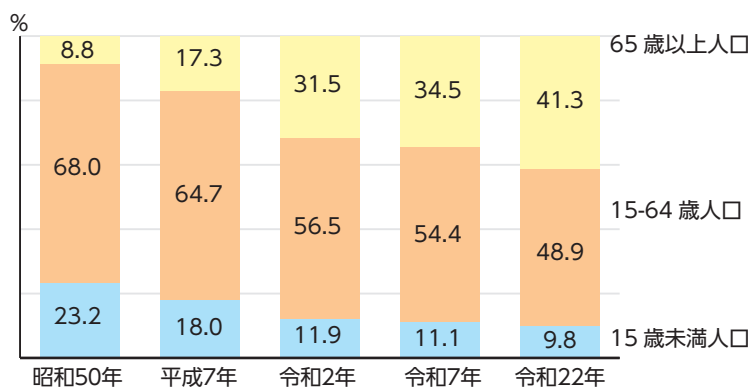


出典：令和2年まで国勢調査、令和6年市統計、令和22年市推計

年齢区分別人口の状況

年齢区分別人口は、昭和から平成にかけては15歳以上65歳未満の生産年齢人口が約2/3を占めていました。その後、15歳未満の年少人口の減少と、65歳以上の高齢人口の増加が続いており、今後も少子高齢化の進行が見込まれます。

年齢区分別人口の推移



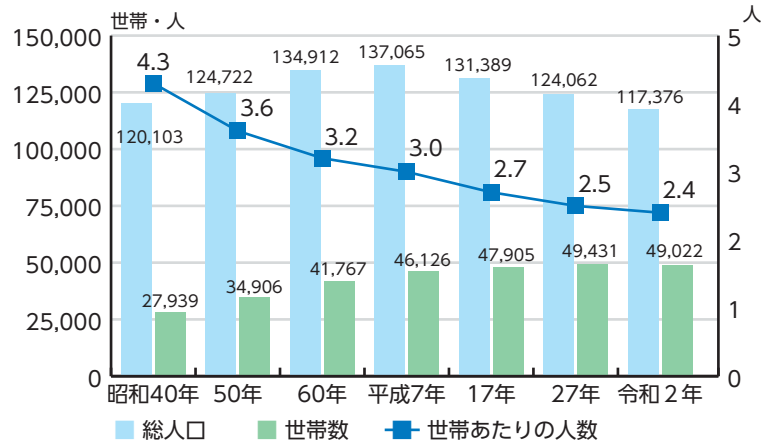
出典：令和2年まで国勢調査、令和7年以降市推計

世帯数の状況

本市の世帯数は、人口が平成7年をピークに減少している中においても増加していましたが、平成27年をピークに減少しています。

世帯あたりの人数は、昭和40年には4.3人でしたが徐々に減少し、令和2年には2.4人となっています。未婚率が上昇していることから、引き続き1世帯あたりの人数は減少すると見込まれます。

世帯数等の推移



出典：国勢調査

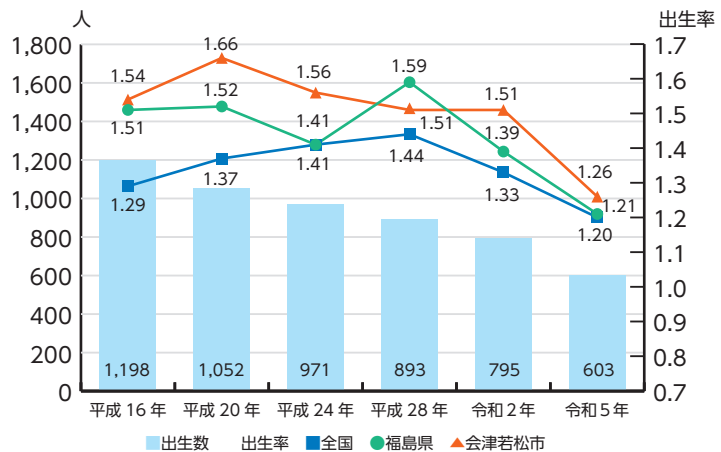
出生数の状況

本市の合計特殊出生率は、令和5年度1.26(市)、1.20(国)、1.21(県)と全国や福島県を若干上回っています。

出生数は、平成16年には1,000人を超えていましたが、徐々に減少しており、令和5年には603人と、約半数に減少しています。

現在、少子化が進行していることから、今後も出生数の減少が見込まれています。

合計特殊出生率等の推移



出典：市推計

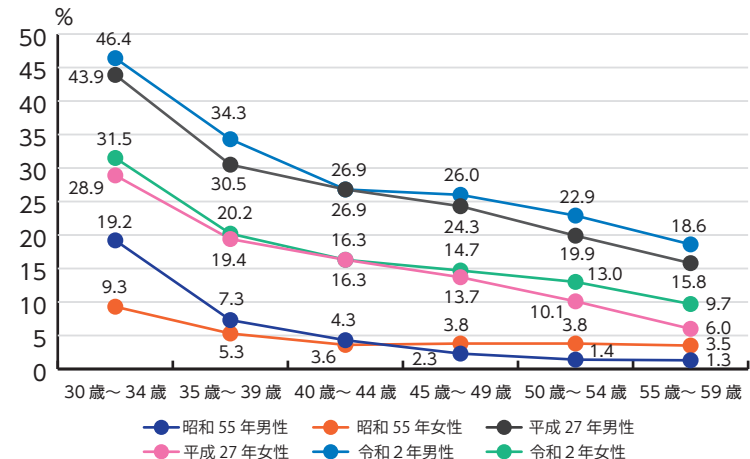
単身者の状況

本市の未婚率は、昭和55年と比較すると各世代とも高くなっています。

晩婚化の進行だけでなく、生活様式等の変化や結婚への不安などもあり、結婚を選択しない方も増えています。

このような状況から、今後も単身世帯の増加が見込まれます。

生涯未婚率の比較

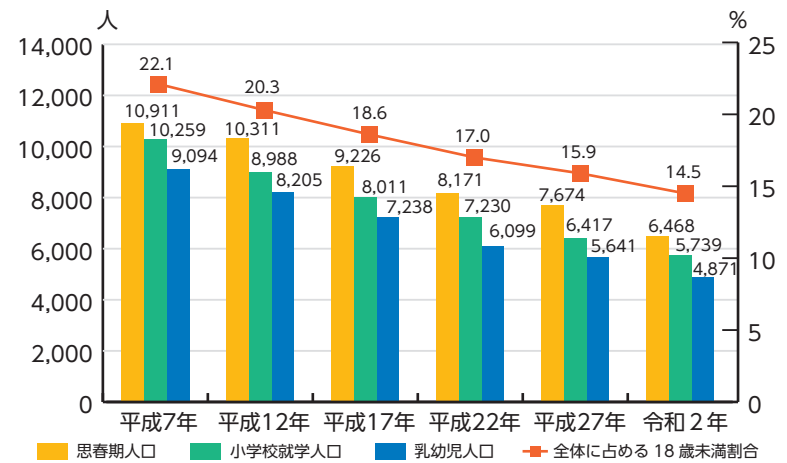


出典：会津若松市の福祉

児童数の状況

本市の児童数は、未婚率の上昇や仕事と子育ての両立の困難さ、家事育児に対する役割分担意識、経済的な負担感等の多様な要因により少子化が進行しています。子どもの人口は減少しているものの、保護者の就労形態の変化や女性の社会進出等により、保育所への入所希望者数は増加しています。

児童人口等の推移



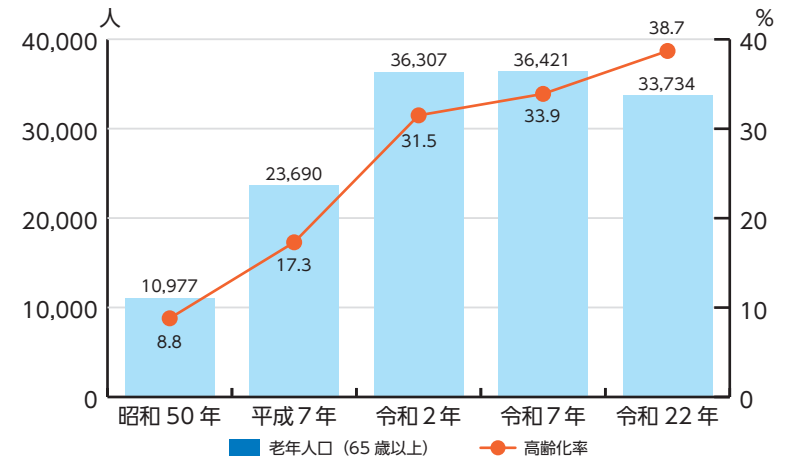
出典：国勢調査

高齢者の状況

本市の高齢者人口は、少子高齢化に伴い人口総数が徐々に減少する一方で、65歳以上の高齢者数は増加していましたが、令和6年をピークに減少に転じました。

令和7年には「団塊の世代」すべてが75歳以上になり、令和22年には「団塊ジュニア」世代全員が65歳以上となるなど、高齢者は減少していくものの、高齢化のさらなる進行が見込まれています。

老年人口と高齢化率の推移



出典：令和2年まで国勢調査、令和7年以降市推計

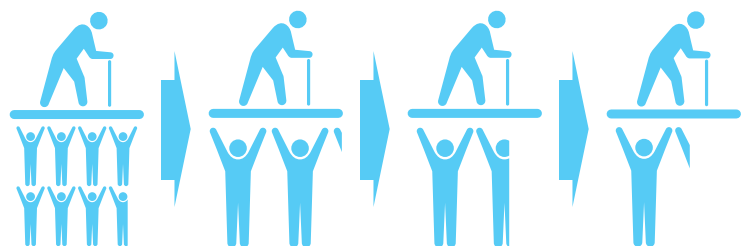
高齢化の状況

昭和50年代、一人の高齢者を生産年齢の方が7人以上で支えていましたが、少子高齢化が進行したことで令和7年には1.6人、令和22年には1.2人で一人の高齢者を支えることが想定されます。

その一方で、現在、元気な高齢者が高齢者を支えるなど、地域全体で要支援者を支える取組が始まっています。

高齢化の状況

1人を7.7人 1人を2.1人 1人を1.6人 1人を1.2人



昭和50年 平成27年 令和7年 令和22年

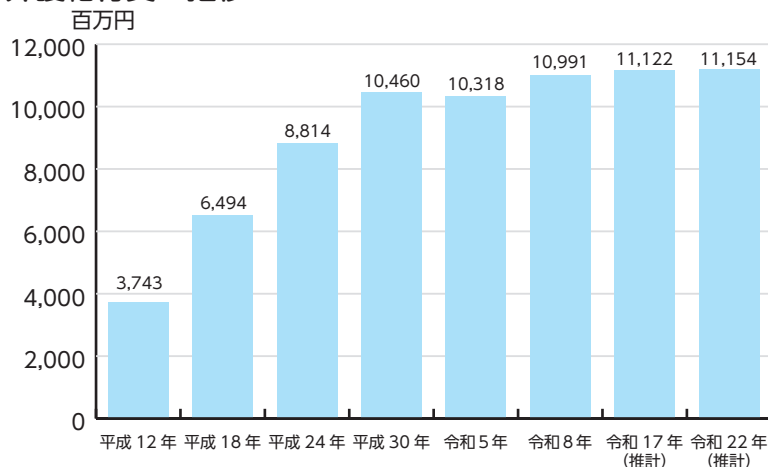
出典：平成27年まで国勢調査、令和7年以降市推計

介護給付費の状況

介護給付費は、介護保険制度創設時の平成12年には37億円でしたが、高齢化の進行により年々給付費が上昇しており、平成30年以降100億円を超過しています。

介護給付費は、今後も上昇が見込まれており、令和22年度には112億円程度になると想定されています。

介護給付費の推移



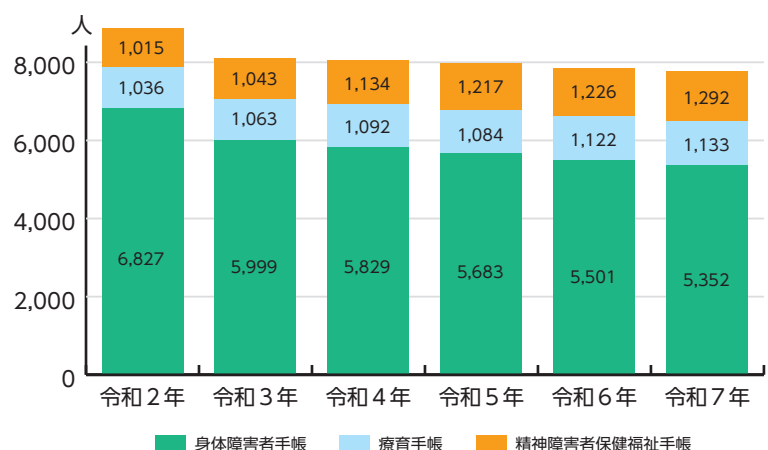
出典：高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画

障がい者の状況

本市の障がい者手帳を所持する方は、令和7年4月1日現在で身体障害者手帳が5,352人、療育手帳が1,133人、精神障害者保健福祉手帳が1,292人の合計7,777人です。

障がい者手帳を所持する方の7割を占める身体障害者手帳の所持者は減少していますが、療育手帳や精神障害者保健福祉手帳を所持する方は増加しています。

障がい者手帳所持者の推移



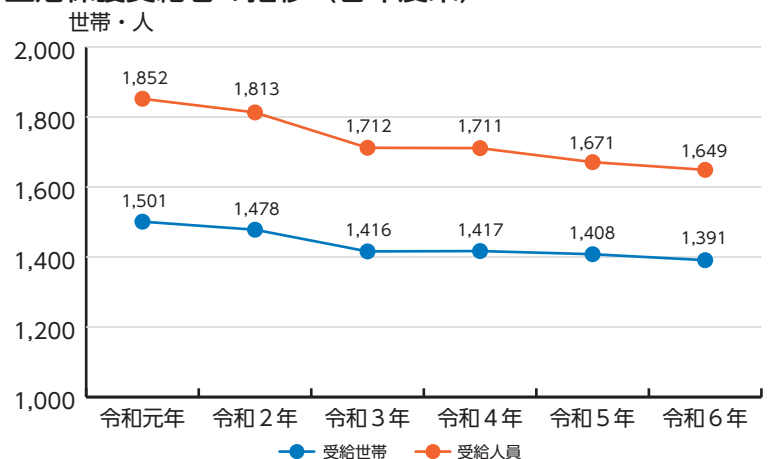
出典：会津若松市の福祉

生活困窮者の状況

生活保護の受給者数は、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行がありましたが、経済雇用環境の改善を受け、全国的には減少傾向にあります。

本市においても、減少はしているものの、ほぼ横ばいの状況が続いています。

生活保護受給者の推移 (各年度末)



出典：会津若松市の福祉

健康の状況

本市の平均寿命は、男性は80.6歳、女性は87.1歳で、県と比較すると男性は同程度で、女性は高くなっています。全国と比較すると、男女ともに若干低い状況にあります。

また、死亡要因の上位は、悪性新生物、心疾患、老衰、脳血管疾患、肺炎となっています。

これらによる死亡割合は、全国より高い状況になっています。

平均寿命の状況（令和5年）

性別	会津若松市	福島県	全国
男性	80.6歳	80.6歳	81.5歳
女性	87.1歳	86.8歳	87.6歳

死亡要因のうち上位5位（令和5年）

順位	会津若松市		福島県		全国	
	死亡要因	割合	死亡要因	割合	死亡要因	割合
1位	悪性新生物	22.6%	悪性新生物	22.7%	悪性新生物	24.3%
2位	心疾患	13.9%	心疾患	14.9%	心疾患	14.7%
3位	老衰	13.2%	老衰	12.3%	老衰	12.1%
4位	脳血管疾患	8.7%	脳血管疾患	8.1%	脳血管疾患	6.6%
5位	肺炎	4.7%	肺炎	7.4%	肺炎	4.8%

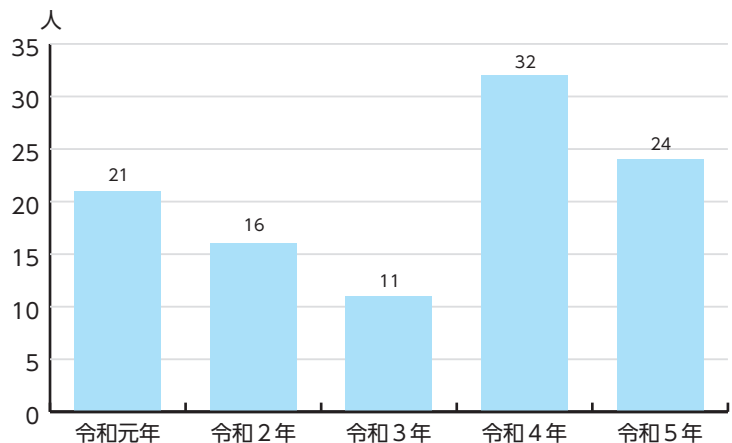
出典：厚生労働省市町村別生命表の概況及び福島県人口動態統計（確定数）の概況

自殺者の状況

本市における自殺者数は、これまで20人台で推移し、令和3年には11人まで減少しました。

しかし、近年は増加傾向にあることから、「健康わかまつ21」に位置づけた自殺対策を推進していく必要があります。

自殺者数の推移



出典：福島県人口動態統計（確定数）の概況

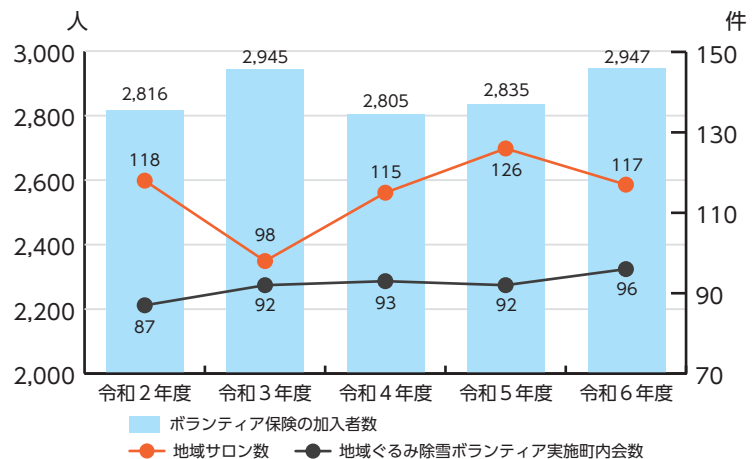
ボランティアの状況

本市のボランティア保険の加入者数は、3,000人から4,000人の中で推移しています。

「地域ぐるみ除雪ボランティア」を実施する町内会は、暖冬であった令和元年度を除き年々活動が増加しています。

また、地域サロン会の実施数も年々増加しており、地域のボランティア活動が活発化していることがわかります。

ボランティア保険の加入状況等



出典：会津若松市社会福祉協議会調べ

2 アンケートから見る本市の現状

この調査は、複雑化・複合化する地域生活課題に対する効果的な支援体制を構築するため、支援を行うべき対象者像やニーズ、それらに対応する福祉サービスをはじめとする社会資源の状況などの実態把握に加え、地域福祉活動への効果的な支援や「第3期地域福祉計画」（令和8年度から令和13年度）策定作業の円滑化に資することを目的に令和5年11月に実施しました。

調査対象者数及び調査方法については、住民基本台帳から抽出された満18歳以上の市民2,000人を対象に郵送により実施し、回答者数は530名で26.5%の回答率となっています。

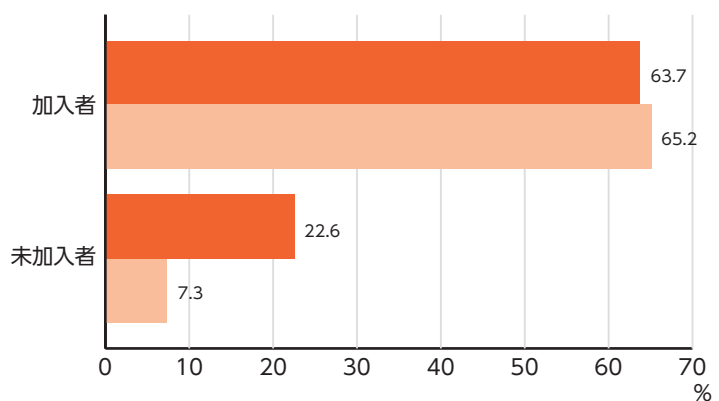
また、更生保護活動・再犯防止等に関するアンケート調査については、町内会の役員、民生委員・児童委員などの地域ケア会議に参加した市民を対象に令和5年4月から7月まで実施し、288名から回答をいただきました。

地域福祉活動への参加の状況

地域活動への参加状況については、59.6%（前回60.0%）の方が参加しています。町内会加入者の地域活動への参加は、63.7%と高い状況にあり、未加入者の参加は低い状況にあります。未加入者の活動への参加割合は22.6%（前回7.3%）と大きく改善していますが、地域福祉活動の推進には、町内会活動が重要であることがわかります。

※グラフ下段は前回（令和元年）調査結果、以下同様。

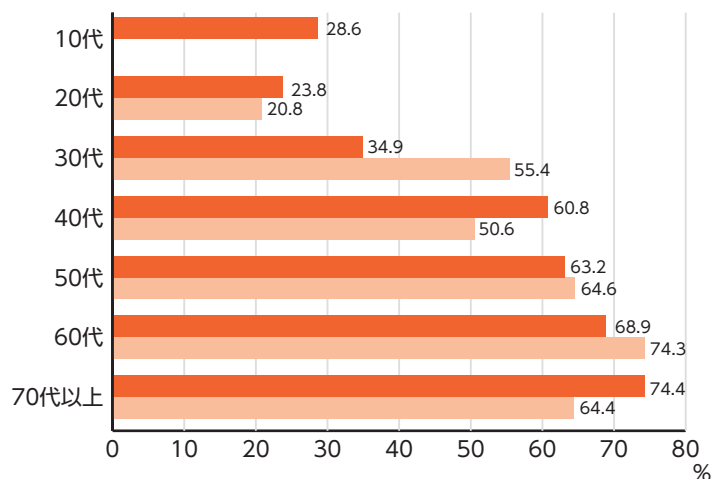
地域福祉活動への参加状況（町内会加入別）



年代別地域福祉活動への参加の状況

地域福祉活動への参加状況を年代別に比較すると、40歳代以上で60%を超える方が参加していますが、20歳代以下では23.8%と低い状況にあります。

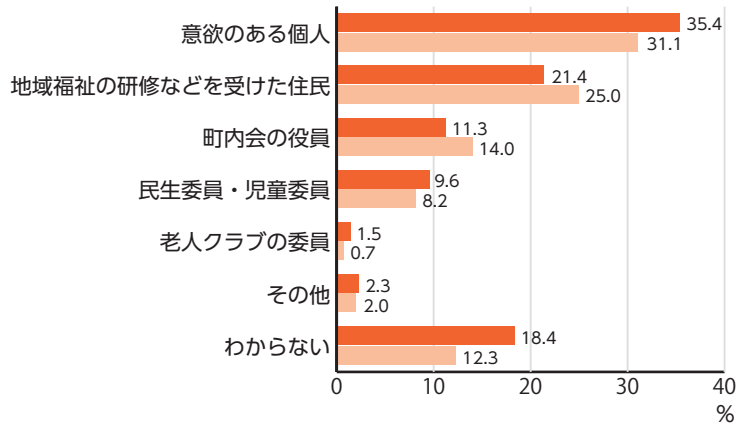
地域福祉活動への参加状況（年代別）



地域福祉活動のリーダー像

地域福祉活動のリーダーについては、「意欲のある個人」や「研修を受けた住民」に期待する意見が上位を占めました。前回調査と比較すると「意欲のある個人」の割合が4.3ポイント増加しています。

中心的に地域福祉活動を行うのにふさわしい人

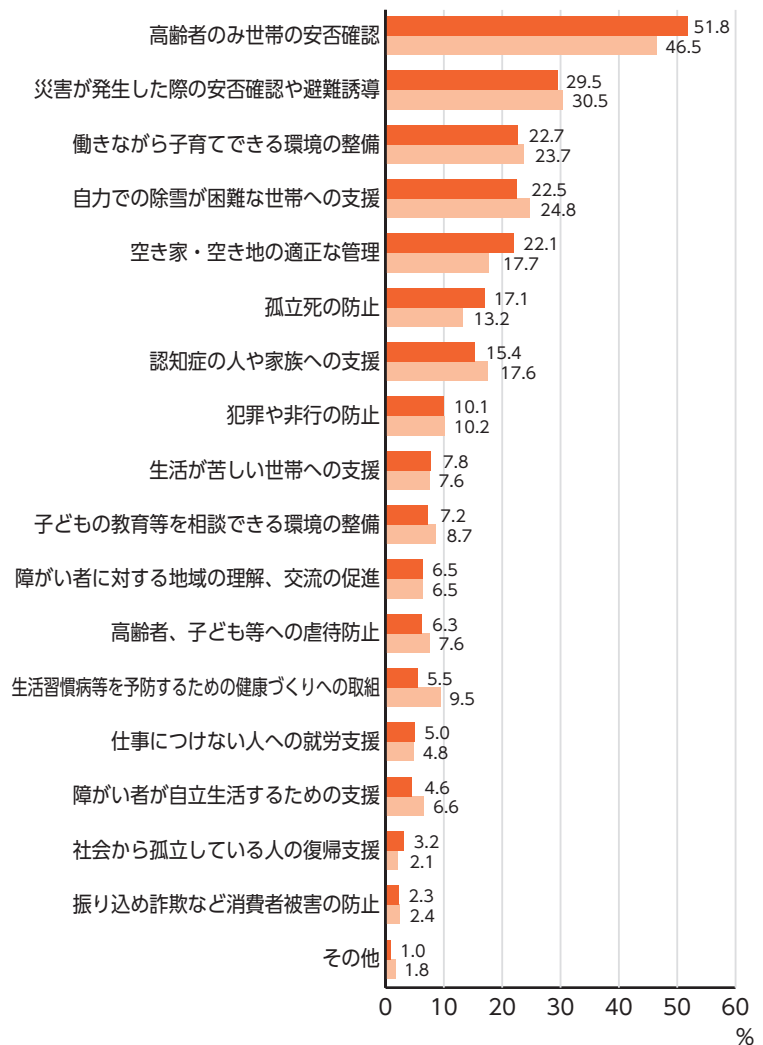


《その他の回答》 医療・福祉の専門職、行政職員等

優先的に解決が必要な地域生活課題

地域において優先的に解決しなければならない地域生活課題については、「高齢者のみ世帯の安否確認」、「災害が発生した際の安否確認や避難誘導」、「働きながら子育てできる環境の整備」、「自力での除雪が困難な世帯への支援」、「空き家・空き地の適正な管理」が上位を占めました。前回調査と比較すると、「高齢者のみ世帯の安否確認」、「空き家・空き地の適正な管理」、「孤立死の防止」が増加し、「健康づくりへの取組」が減少しています。

優先的に解決することが必要な地域生活課題

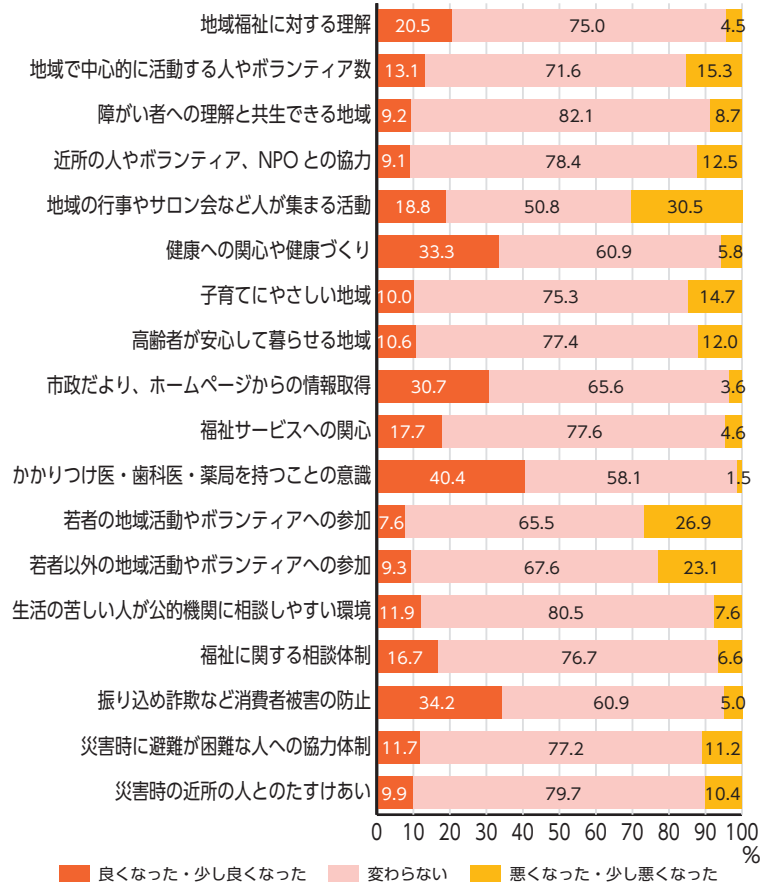


《その他の回答》 通学路の安全確保等

計画策定後の地域の変化

「第2期地域福祉計画」策定後の地域の変化については、「かかりつけ医・歯科医・薬局を持つことの意識」、「振り込め詐欺など消費者被害の防止」、「健康への関心や健康づくり」、「市政だより、ホームページからの情報取得」の項目で「良くなった・少し良くなった」の割合が30%を超えており、高い状況にあります。一方で「地域の行事やサロン会など地域の方が集まる活動」、「若者の地域活動やボランティアへの参加状況」、「若者以外の地域活動やボランティアへの参加状況」の項目は、「悪くなった・少し悪くなった」との回答が20%を超えています。

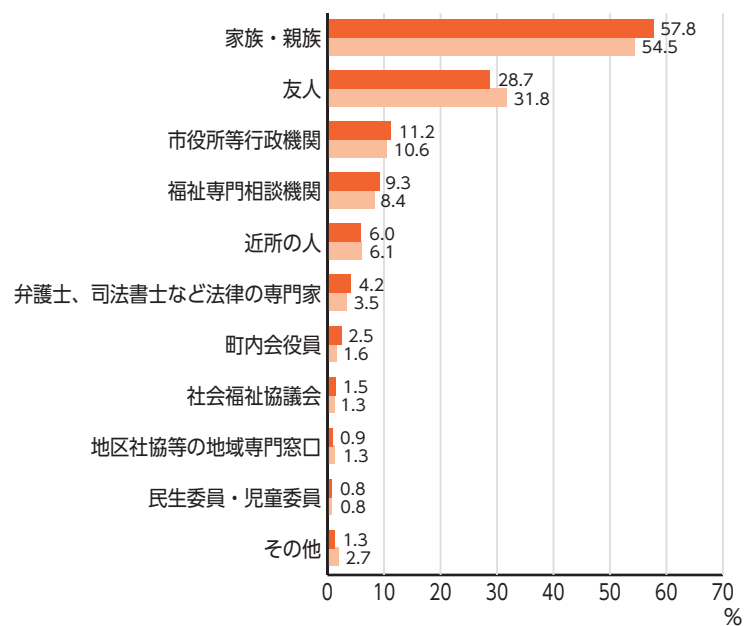
地域福祉計画策定後の状況の変化



相談の状況

地域生活課題の相談相手については、回答者の95.1%が「相談する人がいる」一方で、4.9%が「相談する人がいない」という回答となっています。相談相手は、半数以上が「家族・親戚」、次いで「友人」となり、身近な関係者が多い状況です。

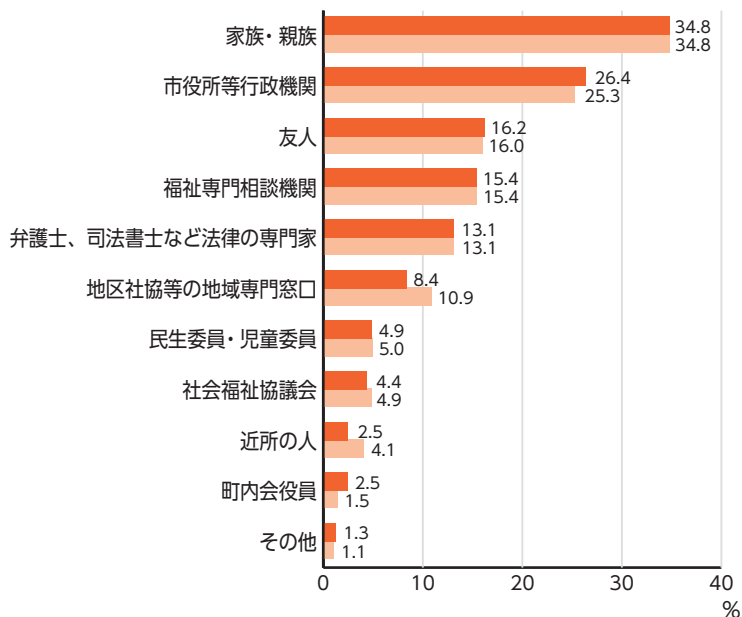
「地域生活課題に係る相談相手（現状）」(a)



《その他の回答》 福祉施設の専門職 等

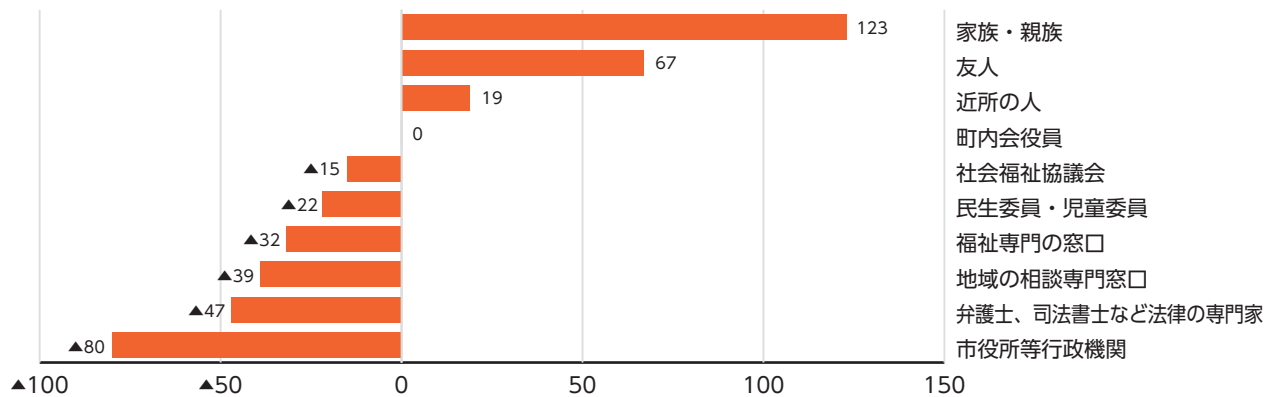
相談相手について、「現在相談している相手」と「本来相談したい相手」を比較すると、「家族・親族」、「友人」、「近所の人」など身近な方への相談は充足している一方で、「市役所等行政機関」や専門機関については、相談したいもののつながっていない割合が高いという状況にあります。

「地域生活課題に係る相談相手（本来相談したい相手）」(b)



《その他の回答》 医療機関の専門職 等

「相談相手に対する状況 (a-b)」(c)

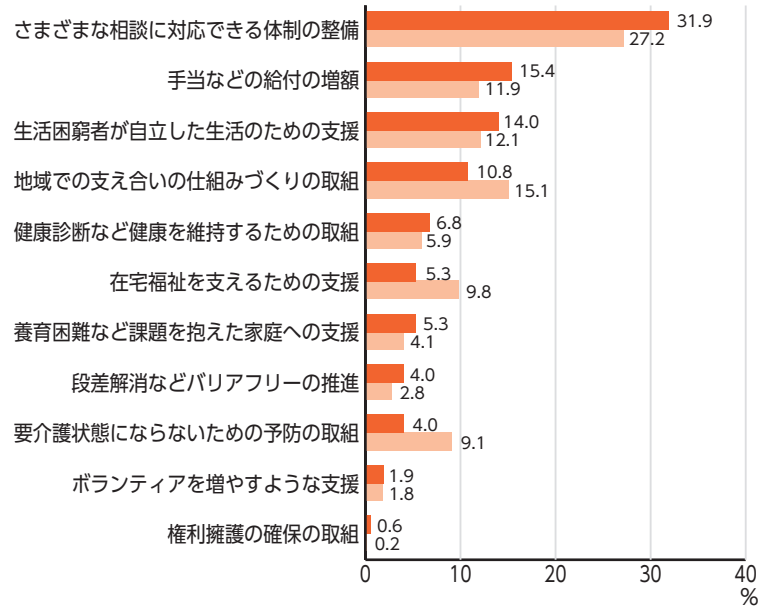


※ 「地域生活課題に係る相談相手（現状）」(a) から「地域生活課題に係る相談相手（本来相談したい相手）」(b) を差し引いた地域生活課題に係る相談相手の充足状況を、「相談相手に対する状況」(c) として示しています。

充実を期待する福祉施策

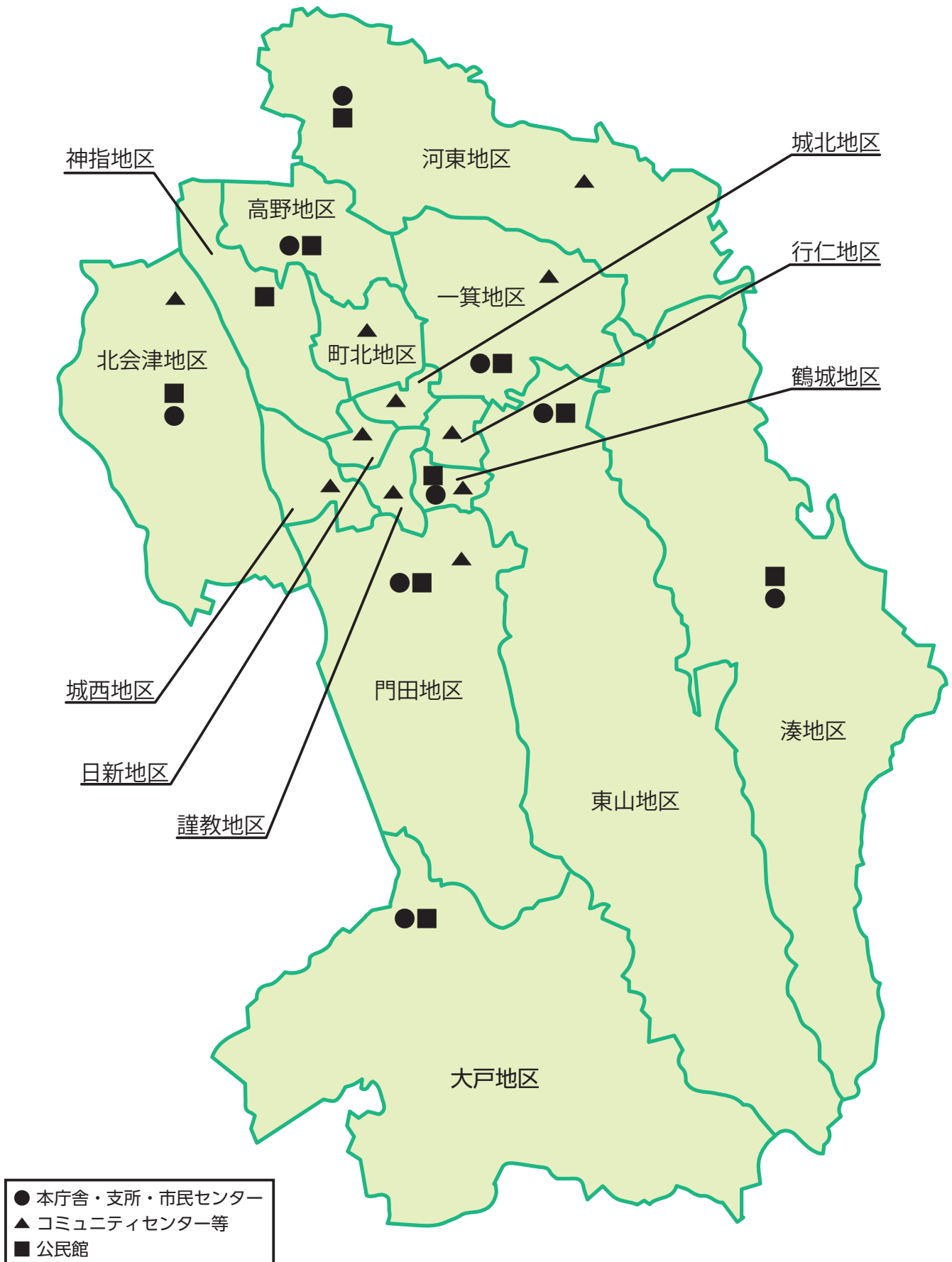
今後、充実を望む福祉施策としては、「さまざまな相談に対応できる体制の整備」が31.9%と最も高く、次いで「手当などの給付の増額」、「生活困窮者が自立した生活のための支援」、「地域での支え合いの仕組みづくりの取組」が10%を超えています。

充実を期待する福祉施策



3 地域の現状

(1) 地域の位置図



(2) 地域の範囲

令和7年4月1日現在

行政機能等			小学校区	中学校区	地区区長会			地区 社会福祉 協議会	民生委員・児童委員			高齢者 日常生活 圏域	共生福祉 相談員数
行政組織	公民館	コミセン等			名 称	町内会数	世帯数		方部名	区域担当	主任児童 委員定数		
市役所	中央	行仁	行仁	第一	行仁	40	3,039	—	第1	17	2	若松第1	3
		鶴城	鶴城	第二	鶴城	30	3,096	—	第2	21	2		6
		謹教	謹教	第三	謹教	60	4,182	謹教	第3	20	2	若松第2	5
		城北	城北	第一	城北	27	3,435	—	第4	16	2	若松第4	4
		日新	日新	第三	日新	30	3,181	日新	第5	19	2		4
		城西	城西	第四	城西	31	4,746	城西	第6	20	2	若松第2	6
北市民 センター	北	—	永和	第六	町北	8	973	北地区	第7	7	2	若松第4	1
					高野	11	307		第11	5	2		1
	神指分館	神指	神指		15	871	—	第12	9	2	1		
南市民 センター	南	—	門田	第五	門田	45	8,269	—	第13	26	2	若松第3 若松第2 若松第3	5
			小金井	第四									
		城南	城南	第五									
東市民 センター	東	—	東山	第二	東山	16	2,372	東山	第8	10	2	若松第1	2
一箕市民 センター	一箕	—	一箕	一箕	一箕	57	7,160	一箕	第10	24	2	若松第5	4
		松長	松長										
大戸市民 センター	大戸	—	大戸	大戸	大戸	14	420	大戸	第14	8	2	若松第3	2
湊市民 センター	湊	—	湊学園 (前期)	湊学園 (後期)	湊	16	483	湊	第9	9	2	若松第5	2
北会津支所	北会津	真宮	荒館	北会津	北会津	50	2,251	北会津	第15	17	2	北会津	3
		—											
		—	川南										
河東支所	河東	—	河東学園 (前期)	河東学園 (後期)	日橋	25	1,652	河東	第16	21	2	河東	3
		八田交流			八田	10	232						
		—			堂島	18	620						
9 機構	9 館	10 施設	19 校	11 校	20 地区	503 町内会	47,289 世帯	10 地区	16 方部	249 人	32 人	7 圏域	52 人

※ 小学校区、中学校区については、一部選択学区となっている地域もあります。

※ 民生委員・児童委員の定数については、令和7年12月1日現在（2名増）を記載しています。

第1章
計画策定にあたり

第2章
地域福祉の現状

第3章
第2期計画の検証

第4章
第3期計画の考え方

第5章
施策とその展開

第6章
地域における重点取組

第7章
再犯防止に向けた取組

第8章
成年後見制度の利用促進

第9章
計画の推進体制

資料編

(3) 地域の特性 (16 地区)

地域の特性は、「地域福祉推移アンケート」の結果や統計、地域ケア会議などでの意見等を総括したものです。

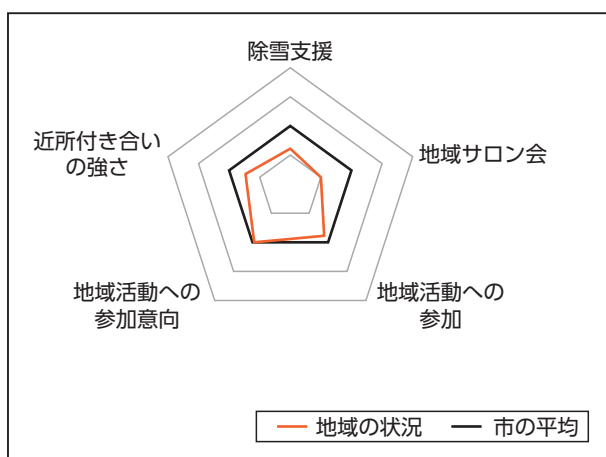
行仁地区

●地域データ

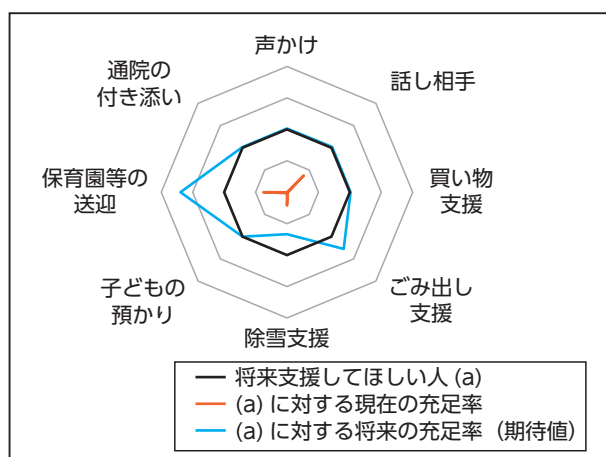
項目	令和2年	令和7年
人口	5,666人	5,213人
高齢者人口	1,787人	1,750人
高齢化率	31.5%	33.6%
町内会数	43町内会	40町内会
世帯数	3,062世帯	3,039世帯

●地区の状況

(1) 地域福祉を取り巻く環境



(2) 現在の支援状況と将来の支援ニーズ



- ▶ 行仁まちづくり協議会が設立されました。
- ▶ 地域サロン会の団体数が市の平均より低くなっています。
- ▶ 防災ミニケア会議を開催し、みんなで災害への備えに取り組んでいます。

●地域の課題

- ▶ 地域活動の内容がわからず参加しにくいとの声があります。
- ▶ 高齢者から外出する機会の確保が望まれています。
- ▶ 隣近所の関係性が希薄化し、支え合いが弱くなっています。
- ▶ 地域活動の担い手が不足しているため、若者の地域活動への参加が望まれています。

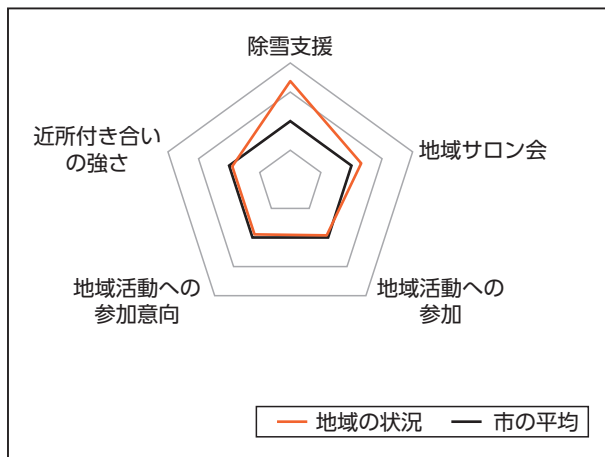
鶴城地区

●地域データ

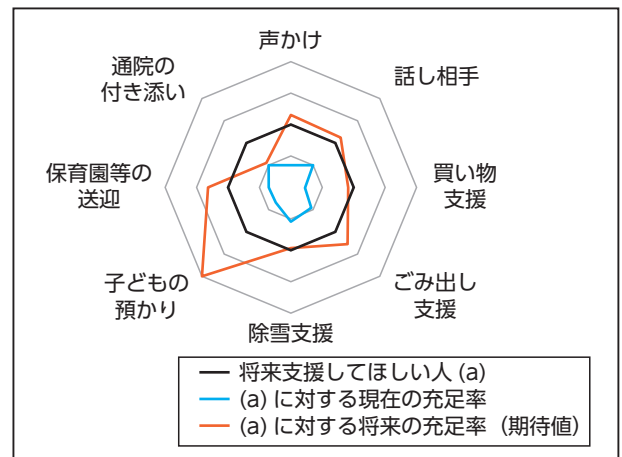
項目	令和2年	令和7年
人口	7,313人	6,681人
高齢者人口	2,599人	2,369人
高齢化率	35.5%	35.5%
町内会数	30町内会	30町内会
世帯数	3,138世帯	3,096世帯

●地区の状況

(1) 地域福祉を取り巻く環境



(2) 現在の支援状況と将来の支援ニーズ



- ▶ 「地域ぐるみ除雪ボランティア」による除雪の支援が活発に行われています。
- ▶ 地域サロン会活動は活発に行われていますが、参加者の高齢化が進んでいます。
- ▶ 高齢化が進展し、高齢者世帯が増加しています。

●地域の課題

- ▶ 地域サロン会への参加者が高齢化しており、地域サロン会活動の継続に不安を持つ方が増えています。
- ▶ 高齢化の進展により、今後の町内会運営に不安を持つ方が増えています。
- ▶ 優先的に解決する課題として、高齢単身世帯の見守りと考える方が多くいます。

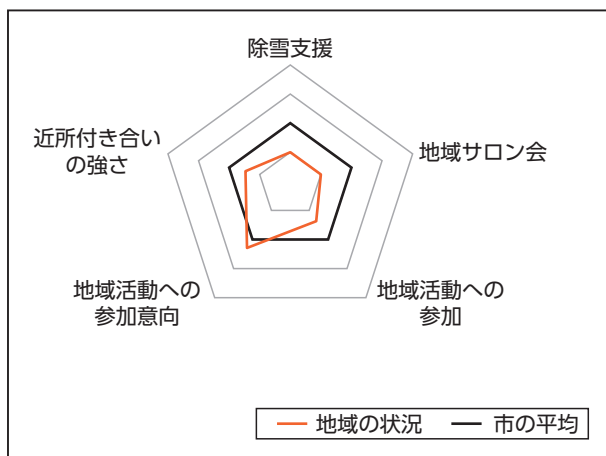
謹教地区

●地域データ

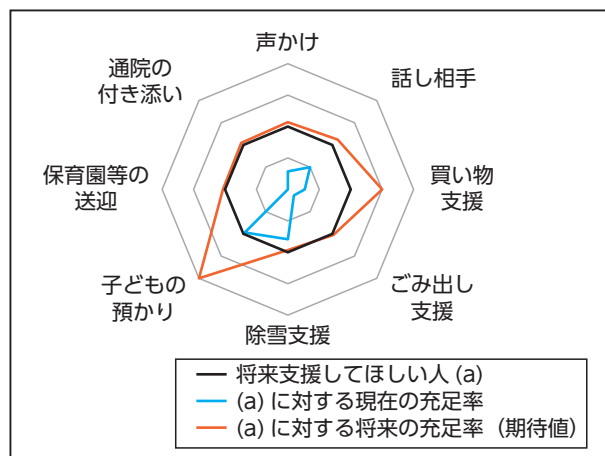
項目	令和2年	令和7年
人口	7,582人	6,728人
高齢者人口	2,416人	2,369人
高齢化率	31.9%	35.2%
町内会数	60町内会	60町内会
世帯数	4,368世帯	4,182世帯

●地区の状況

(1) 地域福祉を取り巻く環境



(2) 現在の支援状況と将来の支援ニーズ



- ▶ 地区社会福祉協議会「謹教ふれあいネットワーク」が設立されました。
- ▶ 地域福祉活動への参加意向は高いものの、参加につながっていない状況です。
- ▶ 児童が高齢者宅に訪問し、防犯を呼びかける取組が行われています。
- ▶ 中心市街地に近い地域では、集会所を保有する町内会は少ない状況です。

●地域の課題

- ▶ 集会所の確保が難しいことから、集会所以外の場所の確保が必要です。
- ▶ 地域活動の取組内容がわからず参加しにくいとの声があります。
- ▶ 地域活動の担い手が不足しています。

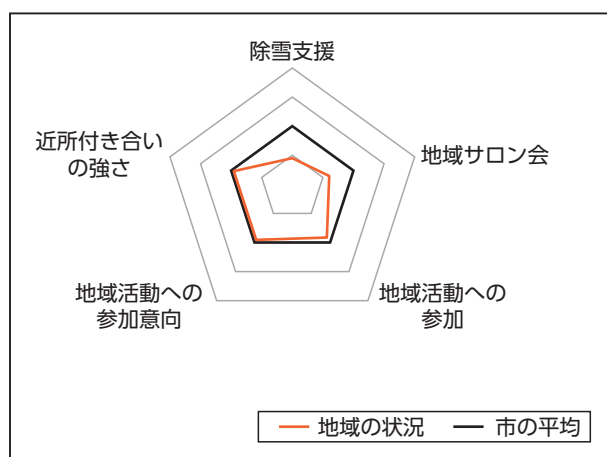
城北地区

●地域データ

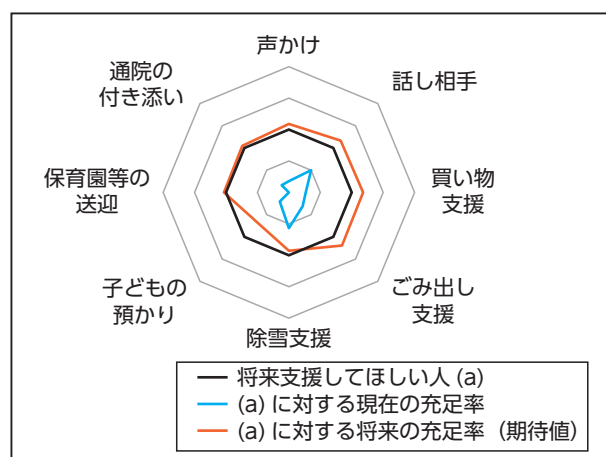
項目	令和2年	令和7年
人口	9,698人	9,201人
高齢者人口	3,033人	2,981人
高齢化率	31.3%	32.4%
町内会数	27町内会	27町内会
世帯数	3,331世帯	3,435世帯

●地区の状況

(1) 地域福祉を取り巻く環境



(2) 現在の支援状況と将来の支援ニーズ



- ▶ 「地域ぐるみ除雪ボランティア」の取組や地域サロン会への参加が市の平均より低い状況です。
- ▶ 大雨が増えていることから、防災意識が高まっています。
- ▶ 集会所など地域の集いの場が少ない状況です。

●地域の課題

- ▶ 地域の集いの場となる場所の確保が必要です。
- ▶ 災害に対応できる体制づくりが求められています。
- ▶ 地域サロン会の参加に向けて、活動内容の情報発信が求められています。

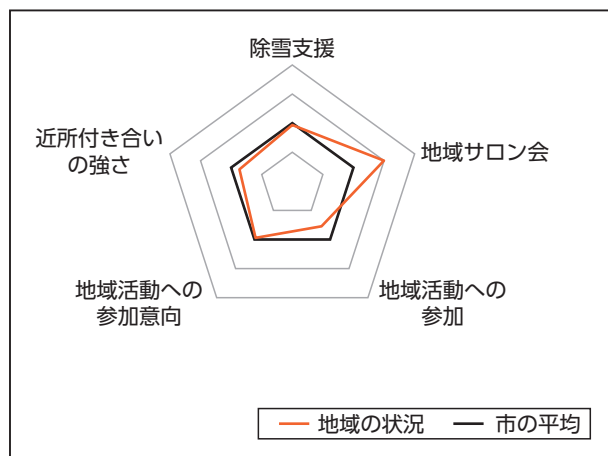
日新地区

●地域データ

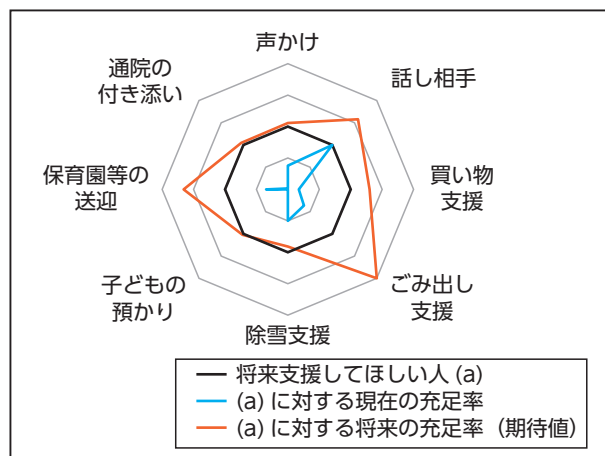
項目	令和2年	令和7年
人口	6,783人	6,256人
高齢者人口	2,222人	2,158人
高齢化率	32.8%	34.5%
町内会数	30町内会	30町内会
世帯数	3,279世帯	3,181世帯

●地区の状況

(1) 地域福祉を取り巻く環境



(2) 現在の支援状況と将来の支援ニーズ



- ▶「日新地区社会福祉協議会」が設立されました。
- ▶地域サロン会を行う町内会の割合が市の平均より低い状況です。
- ▶地域の担い手を育成する担い手講座、災害に備えた防災講座を開催しています。

●地域の課題

- ▶町内会役員や地域サロン会の担い手が不足しています。
- ▶災害発生時に対応できる防災の取組が求められています。

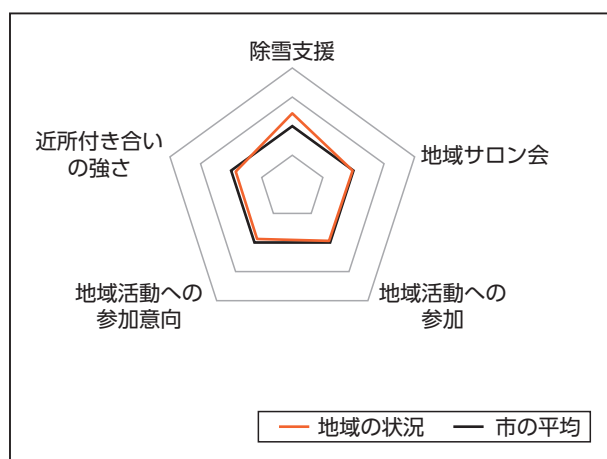
城西地区

●地域データ

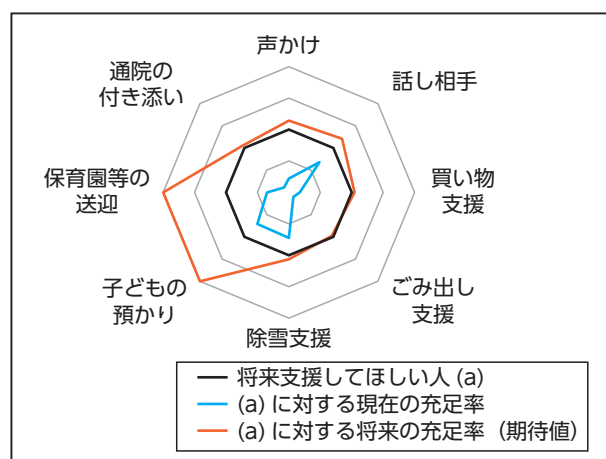
項目	令和2年	令和7年
人口	10,405人	9,726人
高齢者人口	3,126人	3,034人
高齢化率	30.0%	31.2%
町内会数	31町内会	31町内会
世帯数	4,760世帯	4,746世帯

●地区の状況

(1) 地域福祉を取り巻く環境



(2) 現在の支援状況と将来の支援ニーズ



- ▶城西ぬくもりネットワークが設立されました。
- ▶地域ぐるみ除雪ボランティアの活動が、市の平均より高い状況です。
- ▶地域の支え合い活動の多くが町内会役員や民生委員・児童委員などを中心として行われています。
- ▶町内会をはじめとした住民主体による行事や活動が活発に行われ、世代間交流が図られています。

●地域の課題

- ▶地域の支え合い活動に幅広い年代の方が参加できる環境づくりが必要です。
- ▶一戸建てと集合住宅が混在する地区では、つながりづくりが必要です。
- ▶地域の行事が少なくなったことで、地域住民同士の顔を合わせる機会が減少しています。

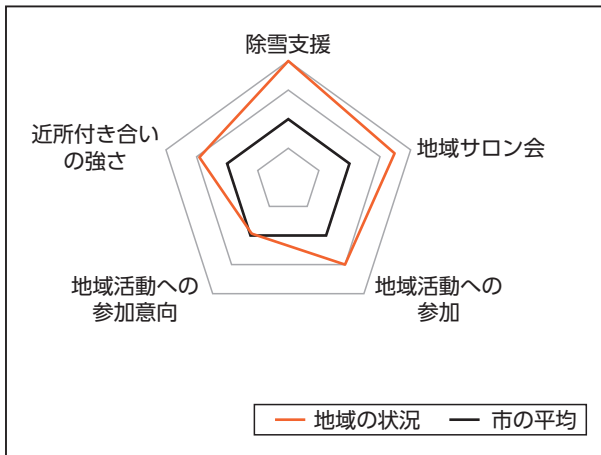
町北地区・高野地区

●地域データ

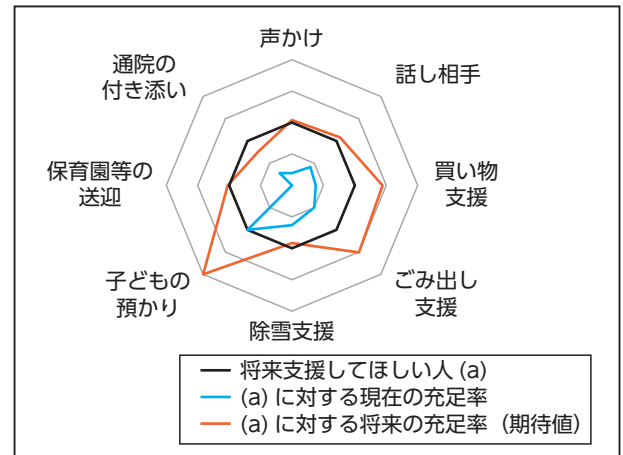
項目	令和2年	令和7年
人口	2,092人	1,849人
高齢者人口	782人	760人
高齢化率	37.4%	41.1%
町内会数	19町内会	19町内会
世帯数	1,232世帯	1,280世帯

●地区の状況

(1) 地域福祉を取り巻く環境



(2) 現在の支援状況と将来の支援ニーズ



- ▶北地区地域づくり協議会が設立されました。
- ▶地域づくり協議会を中心に住民参加による活動が増加しています。
- ▶買い物や通院などに必要な移動手段の確保が望まれています。
- ▶小学校や公民館を活用した活動が活発になっています。

●地域の課題

- ▶町内会役員や地域サロン会の担い手が不足している状況です。
- ▶行事に参加する方が少なく参加者を増やしていく仕組みづくりが必要です。
- ▶買い物や病院、つどいの場への移動手段の確保が必要です。

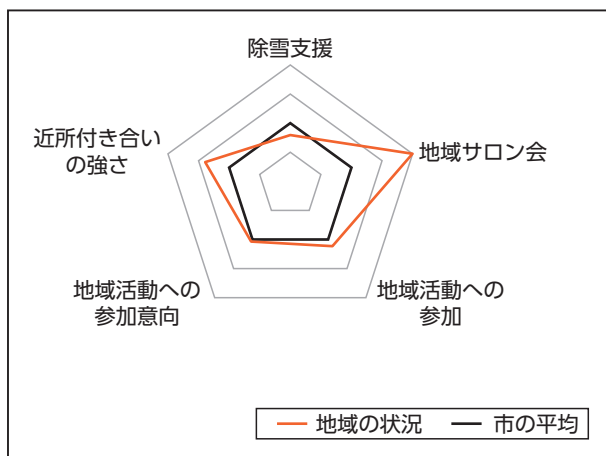
神指地区

●地域データ

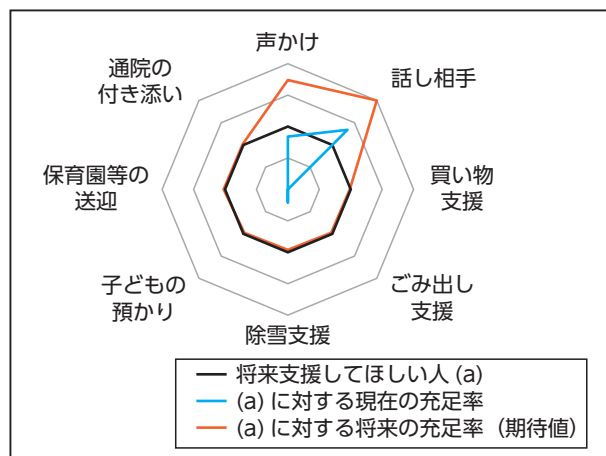
項目	令和2年	令和7年
人口	2,658人	2,355人
高齢者人口	1,067人	1,054人
高齢化率	40.1%	44.8%
町内会数	16町内会	15町内会
世帯数	880世帯	871世帯

●地区の状況

(1) 地域福祉を取り巻く環境



(2) 現在の支援状況と将来の支援ニーズ



- ▶ 除雪の支援や地域サロン会に取り組む町内会が市の平均より高くなっています。
- ▶ 町内会役員や地域サロン会の担い手が少なくなっています。
- ▶ 地域で行う行事が少なくなっています。

●地域の課題

- ▶ 地域の行事が少なくなったことで、地域住民同士の顔を合わせる機会が減少しています。
- ▶ 災害に対応できる体制づくりが求められています。
- ▶ 町内会役員や地域サロン会の担い手を増やしていく必要があります。

第1章
計画策定にあたり

第2章
地域福祉の現状

第3章
第2期計画の検証

第4章
第3期計画の考え方

第5章
施策とその展開

第6章
地域における重点取組

第7章
再犯防止に向けた取組

第8章
成年後見制度の利用促進

第9章
計画の推進体制

資料編

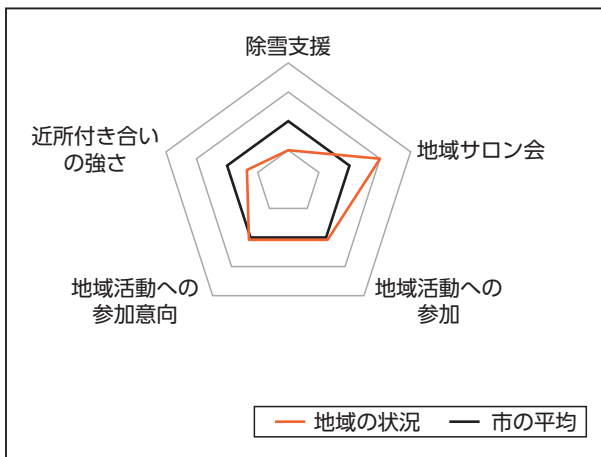
門田地区

●地域データ

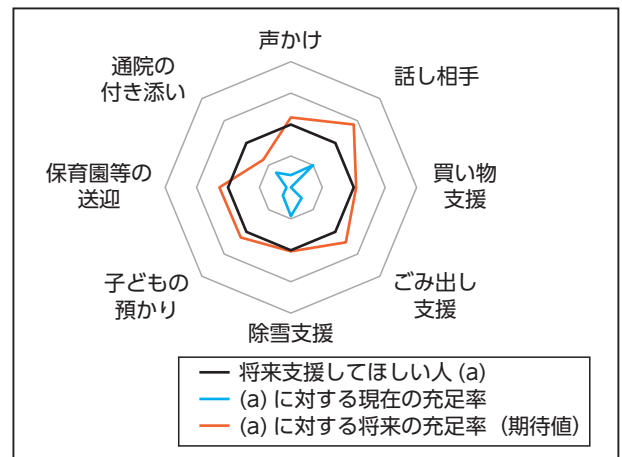
項目	令和2年	令和7年
人口	23,780人	22,394人
高齢者人口	6,149人	6,516人
高齢化率	25.9%	29.1%
町内会数	45町内会	45町内会
世帯数	8,104世帯	8,269世帯

●地区の状況

(1) 地域福祉を取り巻く環境



(2) 現在の支援状況と将来の支援ニーズ



- ▶ 地域サロン会が活発に行われている一方で、地域ぐるみ除雪ボランティアの活動は市の平均より低い状況です。
- ▶ 地域住民によるあいさつ運動が行われ、多世代のつながりが生まれています。
- ▶ 集合住宅に居住する方とのつながりの弱さが心配されています。

●地域の課題

- ▶ 公共交通機関の利用が難しい地域があり、移動手段の確保が求められています。
- ▶ 高齢者の閉じこもり防止や予防が求められています。
- ▶ 町内会役員などの担い手を増やしていく必要があります。

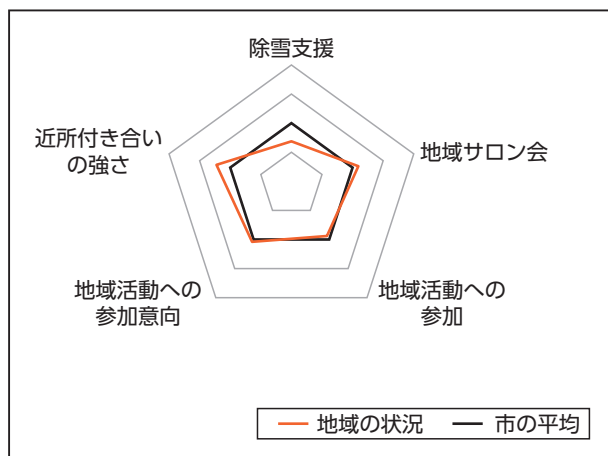
東山地区

●地域データ

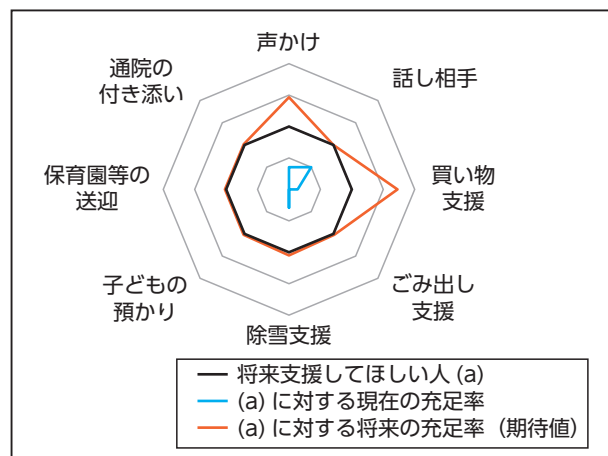
項目	令和2年	令和7年
人口	5,208人	4,905人
高齢者人口	1,627人	1,613人
高齢化率	31.2%	32.9%
町内会数	16町内会	16町内会
世帯数	2,225世帯	2,372世帯

●地区の状況

(1) 地域福祉を取り巻く環境



(2) 現在の支援状況と将来の支援ニーズ



- ▶ 災害に備え、地域の企業と連携した避難所の確保などに取り組んでいます。
- ▶ 集会所など地域の集いの場が少ない状況です。
- ▶ 隣近所とのつながりの弱さが心配されています。

●地域の課題

- ▶ 地域福祉活動の担い手が少なくなっています。
- ▶ 若者の地域活動への参加が期待されています。
- ▶ 高齢者の安否確認など、孤立防止の取組が求められています。

第1章
計画策定にあたり

第2章
地域福祉の現状

第3章
第2期計画の検証

第4章
第3期計画の考え方

第5章
施策とその展開

第6章
地域における重点取組

第7章
再犯防止に向けた取組

第8章
成年後見制度の利用促進

第9章
計画の推進体制

資料編

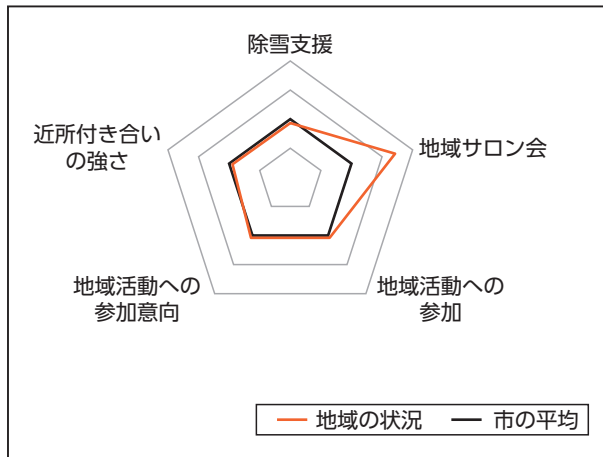
一箕地区

●地域データ

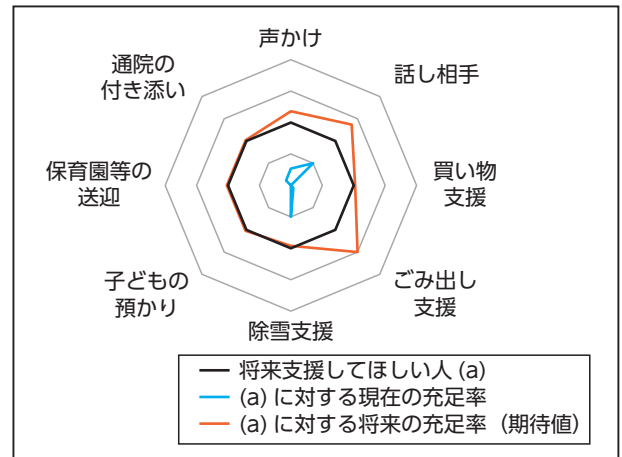
項目	令和2年	令和7年
人口	18,583人	17,537人
高齢者人口	4,923人	5,216人
高齢化率	26.5%	29.7%
町内会数	56町内会	57町内会
世帯数	6,928世帯	7,160世帯

●地区の状況

(1) 地域福祉を取り巻く環境



(2) 現在の支援状況と将来の支援ニーズ



- ▶一箕地区ひとみ創造ネットワークが設立されました。
- ▶公共交通機関を利用しにくい地域があります。
- ▶区画整理事業の完了により若い世代の住民が増加しました。

●地域の課題

- ▶買い物や病院への移動手段の確保が求められています。
- ▶地域のつどいの場の確保が求められています。
- ▶単身世帯が増加しています。

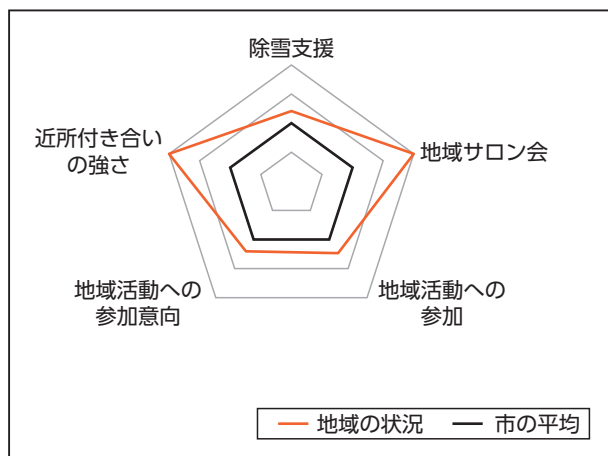
大戸地区

●地域データ

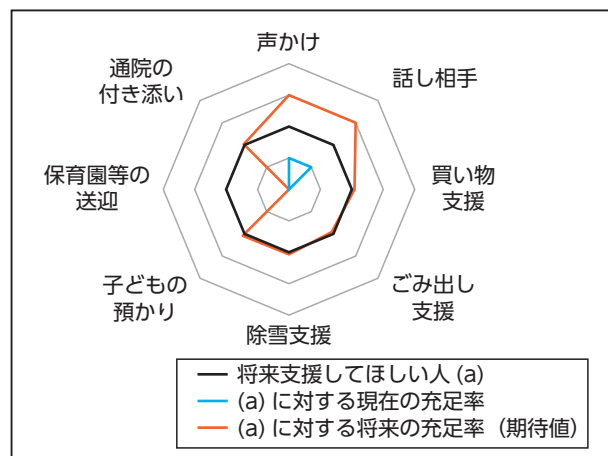
項目	令和2年	令和7年
人口	1,451人	1,169人
高齢者人口	707人	658人
高齢化率	48.7%	56.3%
町内会数	14町内会	14町内会
世帯数	460世帯	420世帯

●地区の状況

(1) 地域福祉を取り巻く環境



(2) 現在の支援状況と将来の支援ニーズ



- ▶ 大戸まちづくり協議会が設立されました。
- ▶ 買い物や病院への交通手段の確保のため、ボランティア輸送が行われています。
- ▶ 買い物場所の確保のため、移動販売の取組が行われています。

●地域の課題

- ▶ 少子高齢化による住民減少により、地域活動の担い手が不足しています。
- ▶ 空き家、空き地の増加が課題となっています。
- ▶ 通所・訪問系福祉サービスの事業者が減少しています。

第1章
計画策定にあたり

第2章
地域福祉の現状

第3章
第2期計画の検証

第4章
第3期計画の考え方

第5章
施策とその展開

第6章
地域における重点取組

第7章
再犯防止に向けた取組

第8章
成年後見制度の利用促進

第9章
計画の推進体制

資料編

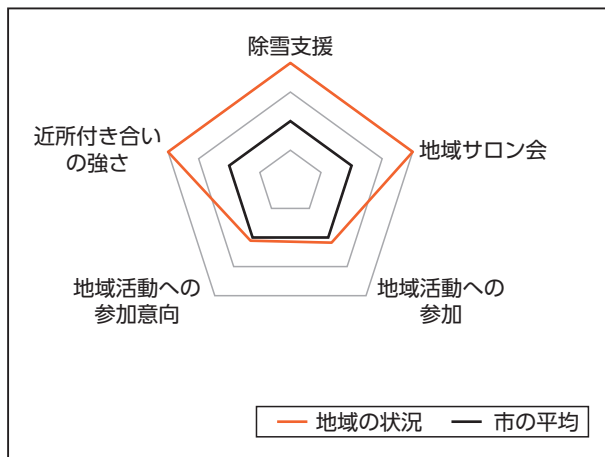
湊地区

●地域データ

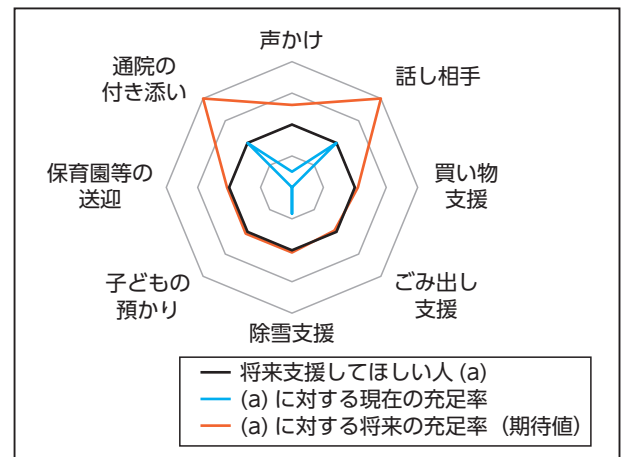
項目	令和2年	令和7年
人口	1,663人	1,406人
高齢者人口	763人	741人
高齢化率	45.9%	52.7%
町内会数	16町内会	16町内会
世帯数	501世帯	483世帯

●地区の状況

(1) 地域福祉を取り巻く環境



(2) 現在の支援状況と将来の支援ニーズ



- ▶ 買い物や通院のため、みんなと湊まちづくりネットワークが湊バスを運行しています。
- ▶ 空き地の増加や地域福祉活動の担い手不足に不安を感じる声があります。
- ▶ 多くの項目で、将来支援できると考えている方が将来の支援ニーズを上回っています。

●地域の課題

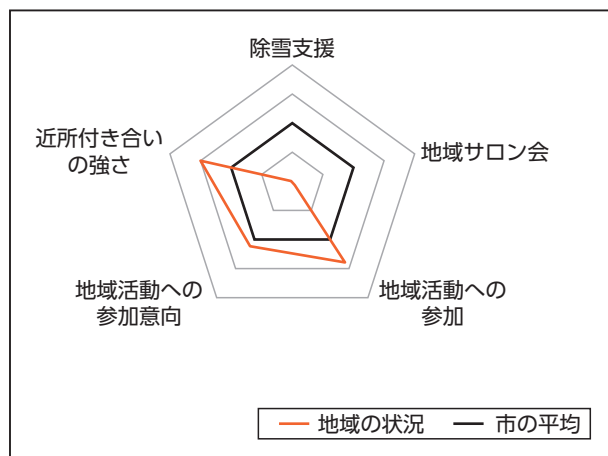
- ▶ 将来の担い手の確保を進めていく必要があります。
- ▶ 災害に対応できる体制づくりが求められています。
- ▶ 通所・訪問系福祉サービスの事業者が減少しています。

●地域データ

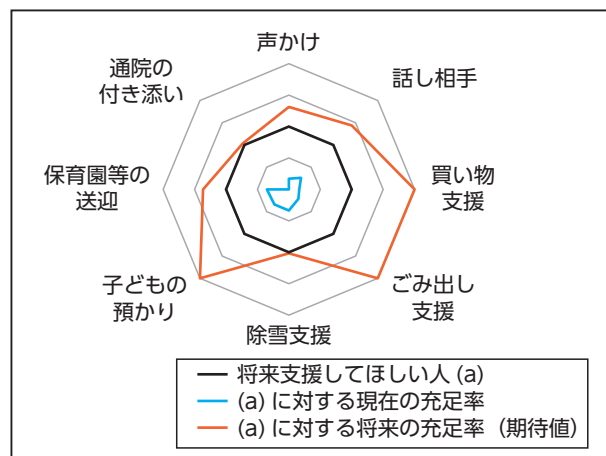
項目	令和2年	令和7年
人口	7,065人	6,562人
高齢者人口	2,278人	2,390人
高齢化率	32.2%	36.4%
町内会数	50町内会	50町内会
世帯数	2,128世帯	2,251世帯

●地区の状況

(1) 地域福祉を取り巻く環境



(2) 現在の支援状況と将来の支援ニーズ



- ▶ 地域ぐるみ除雪ボランティアの活動や地域サロン会を行う地域が、市の平均より低い状況です。
- ▶ さまざまな行事をとおして世代間交流が行われています。
- ▶ 認知症高齢者の見守り訓練を行っています。

●地域の課題

- ▶ 買い物や通院、公共施設への移動手段の確保が求められています。
- ▶ 複数組織の担い手となっている方が多く、担い手の負担が大きくなっています。
- ▶ 地域福祉活動の担い手が不足しています。

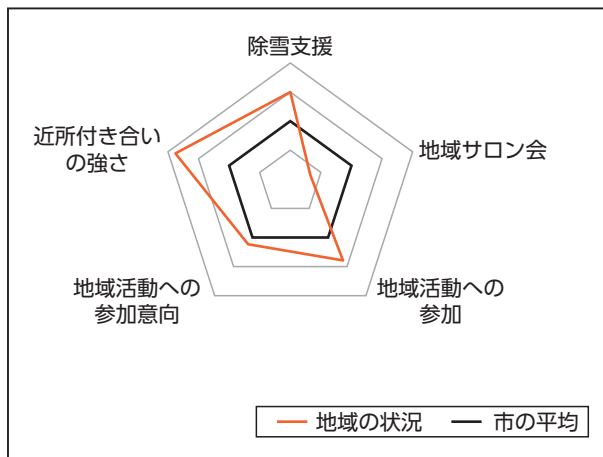
河東地区

●地域データ

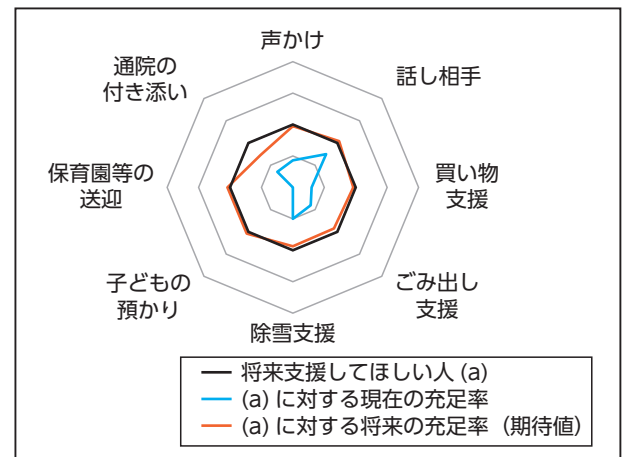
項目	令和2年	令和7年
人口	8,222人	7,334人
高齢者人口	2,725人	2,791人
高齢化率	33.1%	38.1%
町内会数	53町内会	53町内会
世帯数	2,493世帯	2,504世帯

●地区の状況

(1) 地域福祉を取り巻く環境



(2) 現在の支援状況と将来の支援ニーズ



- ▶ 隣近所のつながりが強い地域です。
- ▶ 地域サロン会の数が市の平均と比較して少ない状況です。
- ▶ 高齢化の進展により、高齢者世帯が増加し、担い手が不足しています。

●地域の課題

- ▶ 買い物や通院、公共施設への移動手段の確保が求められています。
- ▶ 高齢化により担い手が不足しているとの声があります。
- ▶ 高齢者の閉じこもり防止や予防が求められています。

第1章
計画策定にあたり

第2章
地域福祉の現状

第3章
第2期計画の検証

第4章
第3期計画の考え方

第5章
施策とその展開

第6章
地域における重点取組

第7章
再犯防止に向けた取組

第8章
成年後見制度の利用促進

第9章
計画の推進体制

資料編